

福井市障がい児通所支援事業所連絡協議会（仮称）の設立に係るアンケートの実施について

1. 経緯

これまで『福井市障がい者自立支援協議会こども部会』で障害児通所支援に関することについて検討したり各種研修会の開催を行ってきましたが、障害児通所支援事業所が抱える課題が多く、多種多様化しており、こども部会だけではそれらの課題に対して早期の対応が難しい状況となっています。

一方で、任意の事業所で構成される障害児通所支援事業所連絡会が存在していますが、一部の事業所のみで構成されていることから市内の事業所全体の状況が把握しにくく、事業所間での課題共有などもしにくい状況です。

そこで、下記2のような各事業所の児童発達支援管理責任者から構成される組織を新たに設立運営していくことで、各事業所間での情報連携を行うことができ横の繋がりを深めるだけでなく、課題について全体の意見の抽出が行いやすくなり、自立支援協議会における課題解決や事業所全体の支援の質の向上に繋がると考えています。

今回のアンケートでは、新たな協議会の設立に向けて各事業所からのご意見をいただくとともに、事業所間の連携や事業所運営について課題に感じている部分についてお聞きしたいと思います。ご協力をお願いいたします。

2. 福井市障がい児通所支援事業所連絡協議会（仮称）の概要（案）

（1）構成イメージ



（2）開催頻度

年3～4回程度（集合形式での開催予定だが、新型コロナウイルスの感染状況によってはオンラインとなる）

（3）役 割

- ①事業所間のネットワーク構築
- ②課題整理・検討
- ③研修会・勉強会の開催
- ④こども部会への情報提供 など

3. アンケートについて

（1）回答者

- ・各事業所の児童発達支援管理責任者が回答してください。
- ・多機能型で複数人の児童発達支援管理責任者がいる場合は、各々で回答してください。

（2）回答方法

下記URLまたはQRコードから回答してください。

<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=DQSIkWsW0yxEjaJBLZtrQAAAAAANAARiA44hUQI5VVpRSINZM0dEUzUzUUxTTFdRRDJVRy4u>

（3）提出メ切

令和4年4月27日（水）17:15まで

（4）アンケート回収後の流れ

- ・4月中に回答結果をまとめ、5月上旬に結果の公表予定



福井市障がい児通所支援事業所連絡協議会(仮称)の設立に係るアンケート調査結果

R4.5.13

1.回答した事業所数

43事業所(市内全事業所45事業所)(回答率95.5%)

2.回答した児童発達支援管理責任者数

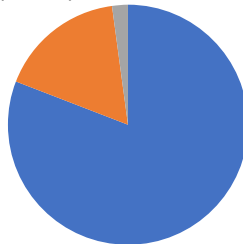
48人(市内全児童発達支援管理責任者数50人)(回答率94.0%)

3.福井市障がい児通所支援事業所連絡協議会(仮称)について

いいと思う(39人)

どちらとも思えない(8人)

よくないと思う(1人)



(1)『いいと思う(39人)』と答えた理由(複数回答可)

事業所間の横の繋がりできるから(32人)

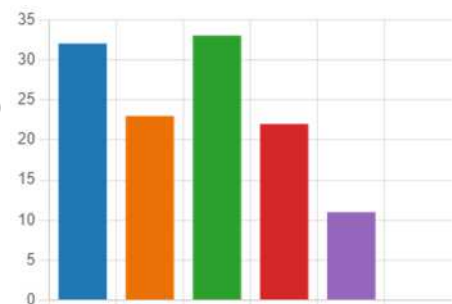
児童発達支援管理責任者同士で顔が見える関係ができるから(23人)

課題の共有ができるから(34人)

課題の解決にむけて協議ができるから(22人)

自立支援協議会のことについて知れるから(11人)

その他



(2)『よくないと思う(1人)』と答えた理由

ご提案の会を新たに作ったところで、「各事業所間での情報連携を行うことができ横の繋がりを深めるだけでなく、課題について全体の意見の抽出が行いやすくなり、自立支援協議会における課題解決や事業所全体の支援の質の向上に繋がると考えています。」となるとは思えないから。直接支援事業所の集まりについては、それがよりよい仕組みとなるように自分たちで考えるべきで、部会が決める必要はない。今の事業所連絡会の在り方に課題があると考えるのであれば、その具体的な内容について部会で協議し、決議された内容を事業所連絡会に対して正式に伝えればよい。事業所連絡会は当然その内容について協議し、改善について回答できるはず。

(3)上記で選択したことについて具体的にご記入ください。(多い意見から抜粋)

『いいと思う具体的理由』

- ・事業所間での取組や課題を共有できることで、自分の事業所での課題等の解決の糸口などを見つけることができ、サービスの向上につながると思う。
- ・児発管同士で顔見知りになれば、ご利用者様への支援についての課題や問題の解決につながりやすい。児発管の人なりを知ることができると話しやすい。
- ・全ての事業所の参加ではなく任意の構成されていた連絡会から、行政と一緒に取り組める協議会の設立については、今までの連絡会からのレベルアップと考え、とても意義あるものだと思います。

『どちらとも思えない具体的理由』

- ・事業所が抱える課題を解決すべきなのか、それとも課題を抱えた子どもの課題を解決すべきなのか子ども部会で実施できないのか。子ども部会で実施できないので、さらに部会を増やすのか。この協議会でみんなで時間と労力を使い、それを上層部の子ども部会にあげて、また検討してもらう時間と労力をかけるのか。子ども部会でなぜ、対応できないのか。
- ・趣旨は理解できるが、既存の民間組織の発展解消なのか、組織が複数存在すると面倒であると思われるから。

4. 協議会への参加時間についてどの時間帯だと参加できますか。

どの時間帯でも参加できる(6人)

日中なら参加できる(15人)

夜間なら参加できる(6人)

その他(21人)

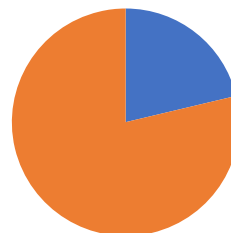
- ・平日の午前中(8人)
- ・長期休暇中以外(5人) など



5. 協議会の役員(代表・副代表・地区役員)の任期や役割等について確認したいことがありますか。

確認したことがある(10人)

確認したいことがない(38人)



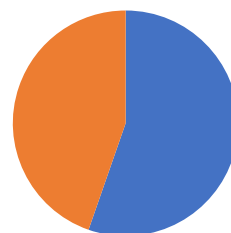
(1) 確認したいことについて具体的にご記入ください。

- ・どのような選考で、役員や任期が決まるのか知りたい。
- ・それぞれの役員の役割について具体的に知りたい。

6. 地区委員の持ち回り制について不安なことがありますか。

不安あり(26人)

不安なし(22人)



(1) 不安なことについて下記に具体的にご記入ください。(多い意見から抜粋)

- ・どのような内容や量の役割を担うのか不安。
- ・自分が担うことになった時できるのかが不安。
- ・業務が多忙で時間が割けるか不安なため。
- ・小規模な事業所では、児発管にかかる負担が大きいのではないかと。

7. 協議会が設立された場合、検討してほしい課題があれば具体的にご記入ください。

- ・不登校児や支援が難しい児童への支援について
- ・教育との連携について(児発管がどこまで介入しているか)
- ・学校への送迎時の対応について
- ・地域連携について

8. 協議会が設立された場合、受けてみたい研修があればご記入ください。

事業所運営 (17人)
横の繋がりを増やす研修 (20人)
障害特性に関する研修 (24人)
特になし (8人)
その他 (5人)
・報酬や加算などに関すること
・実地指導で指摘されるような気をつけるべきこと



(1) 具体的にどのような研修が具体的にご記入ください。(多い意見から抜粋)

- ・報酬単価や加算についての解釈や具体的な内容、記録の方法について
- ・他事業所がどのような運営をされているのかが気になることがあり、良いところを当事業所にも取り入れていきたい。
- ・障害特性の事例を出しながらグループワークで他の事業所とも交流できる研修が希望です。
- ・事例検討など例えば保護者への対応や課題への取り組み改善。
- ・放デイの今後の動向。

9. その他協議会に関して質問やご意見があればご記入ください。

- ・昨年は福井市に 42 の放課後等デイサービス事業所が存在しているのに既存の事業所連絡会の参加事業所が 10 ちょっとと少ないことに対してなんでだろうと思っていたため、この協議会を通してみんなで放課後等デイサービスの事業がもっと良いものになっていけばいいと思う。
- ・協議会で出された問題点や意見については、現場からの意見として積極的に行政側に陳情出来るように取り組んでほしい(こども部会でのやりとり含む)。
- ・新たな感染症の拡大や、大雪など様々なアクシデントが生じた際に、いち早く行政と対応について協議し、ガイドラインやモデルケースの対応を示していくなどのイニシアティブをとって欲しい。